

令和3年10月教育委員会会議（定例会）会議録

1 日 時 令和3年10月28日（木）午後1時45分～午後3時55分

2 場 所 市役所6階 604会議室

3 出席者〔教育長〕大岩幹夫

〔委員〕吉本理（教育長職務代理者）、寺本彰、清水国明、宮本陽子、森田理恵

〔事務局〕千葉裕之教育総務部長、江原勝美学校教育部長、市川雅美教育総務部次長、関根祐一学校教育部次長兼学校教育課長、吉田謙治社会教育担当参事兼社会教育課長、中村啓教育センター担当参事兼教育センター所長、糟谷苗美教育総務課長、大島光治教育総務課主幹兼教育企画室長、遠山秀仁教育施設課長、廣谷貴紀スポーツ振興課長、稲田里織文化財保護課長、根本靖文化財保護課主幹兼埋蔵文化財調査センター所長、酒井忠夫生涯学習推進センター所長、古田晃一所沢図書館長、伊東真吾学校教育課主幹兼健やか輝き支援室長、鈴木恵学校教育課主幹、荒井直樹学校教育課主幹、渡辺純也保健給食課長、徳増由美子教育センター主幹兼教育センター副所長

〔書記〕武政直行教育総務課主査、名雪晋祐教育総務課主査

4 会議の傍聴者 なし

5 開 会 開会に先立ち、千葉教育総務部長から、令和3年9月24日開催の所沢市議会第3回定例会最終日において、市長より教育委員会委員の任命の同意を求める議案が提出され議会の同意を得られたため、宮本陽子委員が10月5日付けで教育委員会委員として再任された旨の報告がなされ、宮本委員から就任に際しての挨拶があった。

本日の議案は、議案第19号から議案第22号までの4件。

なお、議案第19号及び議案第20号については政策決定過程の審議のため、議案第21号及び議案第22号について

は予算に関する審議のため、報告事項のうち「新型コロナウイルス感染症への対応について」の一部及び「市内小中学校での事案について」は個人に関する情報が含まれ、学校及び個人が特定される恐れがあるため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項に基づき、非公開としたい旨の発議があり、出席委員全員が賛成し、非公開で審議および報告されることに決定した。

議事の進行上、非公開の議事及び報告は、公開の報告事項の後に行った。

6 報告事項

所沢市教育委員会後援等名義使用許可について（教育総務課）

所沢市教育委員会の10月から1月までの主な行事予定について（教育総務課）

令和3年所沢市議会第3回定例会（9月）について（教育総務課）

第22回所沢図書館まつりについて（所沢図書館）

東京2020パラリンピックゴールボール日本代表報告会について

（スポーツ振興課）【追加】

質疑なし

新型コロナウイルス感染症への対応について（教育総務部・学校教育部）

質疑なし

新型コロナウイルス感染症への対応について（教育総務部・学校教育部）

【非公開】

質疑なし

市内小中学校での事案について（学校教育課）【非公開】

・市内中学校の命にかかわる重大事案について（令和元年度）

・市内中学校の命にかかわる重大事案について（平成30年度）

《 削除 》

7 議題

議案第19号 令和3年度所沢市教育功労者（追加）の表彰について【非公開】

《 削除 》

大岩教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり可決された。

議案第20号 所沢市学校給食センター再整備事業の契約締結について

【非公開】

《 削除 》

大岩教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり可決された。

議案第21号 令和3年度教育委員会予算（12月補正）について【非公開】

《 削除 》

大岩教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり可決された。

議案第22号 令和4年度教育委員会当初予算について【非公開】

《 削除 》

大岩教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり可決された。

8 その他

今後の日程

- ・教育功労者表彰式：11月16日（火）
- ・教育委員会会議 11月定例会：11月16日（火）
- ・教育委員会会議 12月定例会：12月24日（金）
- ・教育委員会会議 1月定例会：1月20日（木）

松井小学校通学路（七曲り通り）の視察について

（大岩教育長）

本日、定例会前に、市議会にて請願がありました松井小学校の通学路、七曲り通りの視察を行いました。ご意見・ご感想をお願いします。

(宮本委員)

初めて現地を訪問しましたが、坂道がとても多く、また、右に左にとカーブも多いため、請願に記載のあったポールやガードレールの設置要望箇所については、やはり小学生が登下校するには危険な場所であると感じました。交差点も2ヶ所ありましたが信号が無く、自動車がお互いに融通し合っていたため、子どもたちの意識に頼るだけでは危険を感じました。事故等が起きる前に、何か少しでも対応できればと思いました。

(寺本委員)

地図を見ただけでは坂道は分かりませんが、実際に現地を見てみると、カーブがある上に松井小学校の側から新秋津駅の方に向かって下り坂であり、自動車だけでなく通勤通学で自転車を利用する人とも接触が起こりうる場所であると心配しています。七曲り通りを通行しない道も自動車の往来が激しいため、結論としては七曲り通りを通学路として使用することになると思いますが、人的配置や注意を促す看板など危険喚起の対応ができればと思いました。

(吉本委員)

現地を視察したところ、七曲り通りを通行しないルートも狭く、自動車の抜け道となっているため交通量も多いという状況でした。七曲り通りは危険箇所もありますがガードレールが設置されているところもありますので、どちらのルートにしても難しい状況であると感じました。何らかの対応をするのであれば、最終的にスクールゾーンにするしかないのではないかと思います。周囲への交通の流れや地域の住民や警察との調整などもあるかと思いますので、なかなか結論を出すのは難しいと感じました。

(清水委員)

実際に視察した感想としては、ここが通学路だとすると危険であり、仮に自分の子どもが通学するのであれば親としては一緒についていきたいという保護者もいると思います。現地を見る限り道路幅はなかなか難しい状況かと思っておりますので、電柱などに定点カメラを設置することで危険な自動車等を把握するなど現代のI

CTシステムを活用して、安全を担保できればと思います。

(森田委員)

実際に現地を視察してみると、抜け道で通行量も多く危険な場所であると感じました。請願ではガードレールやポール設置の要望もあるものの、場所によって道路幅等の関係で難しい状況かと思いますが、やはり事故が起こる前に何らかの対応ができればと思いました。地域の見守り隊や交通指導員など、たくさんの方にご協力いただいている場所であることも分かりました。

(大岩教育長)

世の中には大人中心の考え方に対して子どもたちが犠牲になったり我慢をしていることがいくつもあり、七曲り通りはその焦点化されたものであると思っています。この地域は、40数名もの大人が子どもたちの登校班と一緒にいたり、安全啓発の看板を作成するなど、子どもたちを大切に考えてくれている地域です。まず、我々大人が子どもを大切にすることを前提として、子どもが遠回りをしたり危険なところを登校するということは避けなければなりません。予算をかけないで直ちにできることは多くはありませんが、地域の協力とともに、教育委員会としても子どもたちの安全を第一にできることを考えていきたいと思っています。

9 閉 会 午後3時55分